

< 第2回運営委員会 議事録 >

日時:平成14年10月4日(金) 午後3:00~

場所:茨城県職員会館 第1会議室

出席者:20名

1. 分科会活動計画について

・建設遺産グループ

memberの再確認、

今年度の目標:県内建設遺産ツアーの実施(2案を提案)

今後の目標:取り組むテーマについて再度検討する。

・水戸市街地の変遷

・建設遺産の案内集の編集

・茨城の道路、河川の歴史の取り組み など

・新全総グループ

今年度の目標:昨年度まで「いばらきらしさ」とはをテーマに笠間をケーススタディーに検討を進めてきたが、今年度は、新しく東海村の北部地区をモデル地区に選んで、21世紀のプロティアづくりを目指すこととした。

緑の分科会、建設遺産分科会、GIS分科会が協力して、いばらきらしさを生かした街造りのルールづくりを行ってゆく。

11月2日(土)に現地調査を実施しますので、分科会班員または興味のある方は是非御参加下さい。

(10:00~東海村 現地集合、現地解散で、集合場所は事務局一任)

・コンクリート構造物の補修・補強分科会については、PCグループから参加者の名簿を提出いただいたので、班長を決定の後、具体的な方針について検討を進める。

・分科会活動を活発化させるため、分科会班員の募集を再度事務局からアナウンスすることとなった。

2. 現地見学会について

・3案ほど事務局から提示したが、実施時期や場所の決定は、事務局一任とする。

3. 講演会について

・生活空間における癒しの効果に関する講演会

:平成14年11月27日(水)開催予定、場所:(財)茨城県建設技術研修センター

「植物から発生する電磁波による癒しの効果」

茨城大学工学部電気工学科 小林正典教授

「ホタルの揺らぎによる癒し効果」

茨城大学工学部機械工学科 稲垣照美助教授

ホタル復活の取り組み - 環境整備における自然復元への提言 -

研究会造園グループ 樫村英紀

・(仮称)廃棄物の現状と建設業界におけるより組に関するワークショップ開催

:平成15年1~2月開催予定

内容:廃棄物に関する現況について

(建設廃棄物の現状、廃棄物処理技術の現状、発生抑制に関する取り組みの現状)

廃棄物の建設分野への利用に関する報告

(有効利用に関する研究の現状、有効利用に関する取り組みと課題)

今後準備委員会等を設け、具体的な人選等を行う予定。

4. その他

・広報誌発行:事務局で早急に作業を進める。

・海外視察について:一昨年の三峡ダムに引き続き、是非企画してほしいという要望があ

り、ドイツの都市再生の例やノルウェーの浮体橋を中心に、旅行会社と詳細日程をたてPRを図って行くこととする。

5. 次回第3回運営委員会開催予定

11月13日(水) 午後3:00～ 於:茨城県職員会館